

【概要】

プロジェクトRavenは、MaKT株式会社の2025年度重点施策である社内向けAIチャットボットの開発プロジェクトです。本手順書では、プロジェクトの開発、テスト、デプロイ、運用保守までの一連の流れをまとめています。内容は機密であり、外部への開示は禁止されています。

【1. 開発環境】

- 使用言語: Python 3.10
- フレームワーク: LangChain (v0.1系)、FastAPI、Streamlit
- RAG構成: OpenAI Embeddings + Weaviateベースのベクトル検索
- 開発環境: Docker + VSCode Dev Container

【2. ドキュメント管理】

- 要件定義書・議事録・設計書はGoogle Drive > プロジェクトRavenに保管。
- ソースコード管理はGitHub Enterprise (org: MaKT-Inc / repo: raven-chatbot)。
- 毎週木曜日午前10時に週次ミーティング (Zoom) を実施。

【3. ベクトルDBの初期設定】

- ベクトルストレージ: Weaviate (Dockerコンテナとして稼働)
- スキーマ設定:
 - クラス名: InternalDocs
 - プロパティ: title (string)、body (text)、doc_type (string)、updated_at (date)

【4. データ投入ルール】

- 入力フォーマットはMarkdown形式。
- 文書ごとにメタ情報 (作成者、部署、作成日) をJSONで添付。
- ドキュメントは500トークンごとに分割し、titleとpage_numberを保持。

【5. 検索応答プロンプトの設計】

- システムプロンプト例: